

BMC 海外派遣報告書

D1 井上 崇嗣 (化学専攻・加藤研究室)

研究タイトル：抗がん活性を有するフシコクシン型ジテルペン配糖体の作用機序の解析

派遣場所：University of Southern California, Prof. Dr. Michael Kahn 研究室

派遣期間：2008/2/22－2008/3/21

[実施内容]

私の研究対象である『天然生理活性物質フシコクシン類の作用機序解明』を行うための手法の一部である、免疫沈降法 (Immunoprecipitation, IP) と、それに続く 2D-HPLC-MS/MS を用いたペプチドマスフィンガープリント法 (PMF) に関する技術の習得と、実際にサンプルを用いての測定を行いました。

[海外で得られたこと]

これまでほとんど海外に行ったことの無かった私にとって、アメリカ・ロサンゼルスでの約一ヶ月間という長期滞在は、研究生活や私生活を問わず、あらゆることが新鮮であり、本当に多くの貴重な経験を与えてくれました。研究面では、最新の設備・機器を用いて研究をすることができましたし、週一回のグループミーティングでは、活発な討論から派遣先の研究室で行われている様々なバイオロジー研究に関して知識を得、興味を持つことができました。さらに、自分の研究経過を報告することで、様々なアドバイスをいただくこともできました。私生活の面では、スーパーマーケットで買い物や、公共の交通機関を利用しながらの通学など、アメリカでの一般的な生活を通じて実践的な英語でのコミュニケーションに加え、様々な民族の方々とのふれあうことができ、異文化への理解も深まりました。

[感想]

今回の貴重な留学体験を通じて、海外での研究生活を肌で感じることができ、自分が今後研究に携わっていく上で学ぶべきこと、修正すべきことを知る良いきっかけになったと思います。

最後に、今回の機会を与えて下さった BMC プログラムに感謝するとともに、ご助力いただいた加藤修雄先生、Michael Kahn 先生、慣れない研究室生活をサポートし、さらに IP を指導して下さった Cu Nguyen 博士、PMF を指導して下さった Mingquan Guo 博士、私生活でサポートしていただいた長谷川光一博士、安田晋也博士をはじめ、お世話になった全ての方々へ厚く御礼申し上げます。



研究室が所属している Zilkha Neurogenetic Institute